

平成18年度 情報科学部研究業績集

【著書】

1. 牛島和夫 (編著), 相利民, 朝廣雄一, 離散数学, コロナ社, ISBN: 4-339-02715-5, 平成18年9月.
2. 志堂寺和則, 松永勝也, パーチャルリアリティを利用した作業, 講談社ブルーバックス, 分担項目: だまされる脳: パーチャルリアリティと知覚心理学入門, pp. 188-204, 日本バーチャルリアリティ学会 VR心理学研究委員会 編, 平成18年9月.

【雑誌論文】

1. Chenyu Pan, Merdan Atajanov, Mohammad Belayet Hossain, Toshihiko Shimokawa, Norihiko Yoshida, *FCAN: Flash Crowds Alleviation Network Using Adaptive P2P Overlay of Cache Proxies*, *IEICE Transactions on Communications*, vol. E89-B, no. 4, pp. 1119-1126, 平成18年4月.
2. 稲永健太郎, 企業の情報資源活用における情報発信の重要性と情報通信技術の役割, オフィス・オートメーション, vol. 26, no. 3, pp. 63-69, 平成18年5月.
3. Toshihiko Shimokawa, Norihiko Yoshida, Kazuo Ushijima, *Server Selection Mechanism with Pluggable Selection Policies*, *Electronics and Communications in Japan, Part III, Fundamental Electronic Science*, vol. 89, no. 8, pp. 53-61, 平成18年7月.
4. Merdan Atajanov, Chenyu Pan, Toshihiko Shimokawa, Norihiko Yoshida, *Scalable Cloud of Cache Proxies for Flash Crowds Alleviation Network*, *International Transactions on Communication and Signal Processing*, vol. 8, no. 1, pp. 59-70, 平成18年8月.
5. 松永勝也, 松木裕二, 梅崎康二, 丸山兼司, 合志和晃, 志堂寺和則, 追突と出会い頭衝突事故防止のための安全運転教育用シミュレータの開発, 交通と科学, vol. 37, no. 1, pp. 27-35, 平成18年10月.
6. Yuichi Asahiro, Takashi Horiyama, Kazuhisa Makino, Hirota Ono, Toshinori Sakuma, Masafumi Yamashita, *How to Collect Balls Moving in the Euclidean Plane*, *Discrete Applied Mathematics*, vol. 154, no. 16, pp. 2247-2262, November 2006.
7. Andrew Flahive, Bernady O. Apduhan, J. Wenny Rahayu, David Taniar, *Large Scale Ontology Tailoring and Simulation in the Semantic Grid Environment*, *International Journal of Metadata, Semantics and Ontologies*, Inderscience Publishers, vol. 1, no. 4, pp. 265-281, 2006.
8. 花野井・弘, 有田五次郎, 澤田直, 牛島和夫, 吉本健次, 牧園幸司, 双方向型産学連携実践教育, 情報処理学会論文誌, vol. 18, no. 2, pp. 832-845, 平成19年2月.
9. 谷田公二, 松永勝也, 車間時間に関するドライバーの時間知覚の精度についての研究, 交通心理学研究, vol. 22, no. 1, pp. 1-9, 平成18年度.
10. 花野井歳弘, 牛島和夫, 西岡雅敏, 双方向型産学連携実践教育, 情処研報, vol. 2007, no. 25, pp. 71-74, 平成19年3月.

【国際会議論文】

1. Chenyu Pan, Merdan Atajanov, Mohammad Belayet Hossain, Toshihiko Shimokawa, Norihiko Yoshida, *FCAN: Flash Crowds Alleviation Network*, *Proceedings of ACM 21st Annual Symposium on Applied Computing*, pp. 759-765, April 2006.
2. Katsuhiko Takata, Jianhua Ma, Bernady O. Apduhan, *A Dangerous Location Aware System for Assisting Kids Safety Care*, *Proceedings of the 20th IEEE International Conference on Advanced Information Networking and Applications*, pp. 657-662, April 2006.
3. Yuichi Asahiro, Tetsuya Furukawa, Keiichi Ikegami, Eiji Miyano, *How to Pack Directed Acyclic Graphs into Small Blocks*, *Proceedings of the 6th International Conference on Algorithms and Complexity (CIAC 2006)*, *Lecture Notes in Computer Science*, vol. 3998, pp. 272-283, May 2006.
4. Andrew Flahive, Wenny Rahayu, Bernady O. Apduhan, David Taniar, *Simulating the Distributed Ontology Framework in the Semantic Grid Environment with GridSim*, *Proceedings of the 2006 International Conference on Parallel and Distributed Processing Techniques and Applications*, pp. 717-723, June 2006.
5. Satoshi Yonemoto, Takahiro Yotsumoto and Rin-ichiro Taniguchi, *A Tangible Interface for Hands-on Learning*, in *Proceedings of 9th International Conference INFORMATION VISUALISATION*, pp. 535-538, July 2006.
6. Limin Xiang, Kai Cheng, Kazuo Ushijima, *On Gray Codes for Set Partitions*, *Proceedings of Information-MFCSIT' 06*, pp. 180-183, August 2006.
7. Kenichi Ishida, Mitsuo Tateiba, *Two Dimensional Reconstruction from Multi-frequency Scattering Data by Means of Construction of the Equivalent Current Distribution*, *Abstracts of Progress in Electromagnetics Research Symposium (PIERS2006)*, p. 96, August 2006.
8. Kenichi Ishida, Mitsuo Tateiba, *Separation of Measured and Unmeasured Elements of Extended T-matrix Using a Series Expansion and its Application to an Inverse Scattering Problem*, *Proceedings of the 6th Asia-Pacific Engineering Research*

- Forum on Microwaves and Electromagnetic Theory, pp.167-174, August 2006.
9. Agustinus Borgy Waluyo, Bala Srinivasan, David Taniar, Wenny Rahayu, Bernady O. Apduhan, *Performance Analysis of Unified Data Broadcast Model for Multi-Channel Wireless Databases*, Proceedings of the 3rd International Conference on Ubiquitous Intelligence and Computing, pp. 698-707, September 2006.
10. Akio Miyazaki, Fumihiro Uchiyama *An Image Watermarking Method Using the Lifting Wavelet Transform*, Proceedings of the 2006 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems (ISPACS2006), WPM1-2-1, CD-ROM(4 pages), December 2006.
11. Limin Xiang, Kai Cheng, Kazuo Ushijima, *Sequence Analysis in Constant Time on BSR*, Proceedings of PDCAT' 06, pp. 431-436, December 2006.
12. Rodrigo Lanka, Kentaro Oda, Samarasinghe Rohan, Yoshihiro Yasutake, Duminda Nishantha, Takaichi Yoshida, *Adaptable Replication Spectrum for Open Distributed Environments*, Proceedings of the First International Conference on Industrial and Information Systems, CD-ROM(6 pages), 2006.
13. Yuichi Asahiro, Eiji Miyano, Shuichi Miyazaki, Takuro Yoshimuta, *Weighted Nearest Neighbor Algorithms for the Graph Exploration Problem on Cycles*, Proceedings of the 33rd Conference on Current Trends in Theory and Practice of Informatics(SOFSEM 2007), Lecture Notes in Computer Science, vol.4362, pp.164-175, January 2007.

【学会発表】

1. 稲永健太郎, 企業のコンシェルジュ型情報発信戦略における情報品質保証, 第 58 回オフィス・オートメーション学会九州支部研究会, 平成 18 年 5 月.
2. 宮崎明雄, ベイズ推定に基づく電子透かしの検出, 電子情報通信学会技術研究報告(スマートインフォメディアシステム研究会), SIS2006-11, pp. 61-66, 平成 18 年 6 月.
3. 稲永健太郎, 企業のコンシェルジュ型情報発信戦略における情報品質保証, 第 52 回オフィス・オートメーション学会全国大会・2006 年度経営情報学会春季全国研究発表大会予稿集, pp. 74-77, 平成 18 年 6 月.
4. 合志和晃, 松永勝也, 安全運転管理システム(ASSIST)による安全運転度評価の試み, 情報処理学会 第 25 回 高度交通システム研究会(ITS), pp. 79-85, 平成 18 年 6 月.
5. 下川俊彦, 合志和晃, 牛島和夫, 講義記録システム 4 年間の運用と評価, 日本工学教育協会 工学・工業教育研究講演会, pp. 236-237, 平成 18 年 7 月.
6. 中野 康明, 講義記録システムを用いた九州産業大学情報科学部におけるファカルティデベロプメントの推進, 日本工学教育協会 54 回大会, 平成 18 年 7 月.
7. 成凱, 牛島和夫, 有田五次郎, 高校生を対象とした大学授業体験における講義記録システムの活用:九州産業大学情報科学部授業体験 on the Web, 平成 18 年度工学・工業教育研究講演会, 平成 18 年 7 月.
8. Yuichi Asahiro, Jesper Jansson, Eiji Miyano, Hiroataka Ono, Kohei Zenmyo, (In)approximability of Graph Orientation to Minimize the Maximum Weighted Outdegree, 情報処理学会研究報告, vol.2006, no.71, pp.21-28, 平成 18 年 7 月.
9. 中基隆, 湯本範子, 仲隆, 畠山真理子, 定量的な時系列測定データに基づく ErbB シグナル伝達パスの同定と数理モデルを用いたシステム解析, 日本バイオインフォマティクス学会 第 12 回システムバイオリジー研究会, 平成 18 年 8 月.
10. 朝廣雄一, 古川哲也, 池上佳一, 宮野英次, サイズ 3 の最小ブロック転送問題の近似困難性, 電気関係学会九州支部連合大会, CDROM, 平成 18 年 9 月.
11. 安部恵介, 平野昌彦, 金島誠悟, 福地陽一, 進藤静一, 複数デポ・集配送を考慮した配送計画作成方式, 平成 18 年電気学会電子・情報・システム部門大会講演論文集, pp.973-977(CD-ROM), 平成 18 年 9 月.
12. 井上宗徳, 下川俊彦, DVTS を用いたサテライトオープンキャンパス実験, 情報処理学会/電子情報通信学会 情報科学技術フォーラム 2006, vol. 4, pp. 79-80, 平成 18 年 9 月.
13. 岩佐宗幸, 吉田充, 下川俊彦, コンテンツ同期状態を利用したサーバ選択機構, 情報処理学会/電子情報通信学会 情報科学技術フォーラム 2006, vol. 4, pp. 7-8, 平成 18 年 9 月.
14. 松永勝也, 早見武人, 塚本裕二, 山崎伸一, 平川和生, 志堂寺和則, 松本裕二, ビデオカメラ撮影方式自動足型計測装置の開発, 靴の医学(第 20 回日本靴医学会学術集会論文集), vol. 20, no. 1, p. 19, 平成 18 年 9 月.
15. 木下信博, 日高滋紀, 塚本裕二, 山崎伸一, 平川和生, 松永勝也, 小野直洋, 志堂寺和則, SHM 靴による膝関節回旋に対する運動競り学的影響の研究-正常者と変形性膝関節症患者の差, 靴の医学(第 20 回日本靴医学会学術集会論文集), vol. 20, no. 1, p. 20, 平成 18 年 9 月.
16. 小野直洋, 塚本裕二, 酒向俊治, 松永勝也, 高滋紀, 木下信博, FootGrapher による幼稚園児の足型測定~外反母趾・内反小趾と上履きの関係, 靴の医学(第 20 回日本靴医学会学術集会論文集), vol. 20, no. 1, p. 33, 平成 18 年 9 月.
17. 日高滋紀, 木下信博, 塚本裕二, 山崎伸一, 平川和生, 松永勝也, 小野直洋, 志堂寺和則, 変形性膝関節症患者に対する SHM 靴の臨床効果, 靴の医学(第 20 回日本靴医学会学術集会論文集), vol. 20, no. 1, p. 47, 平成 18 年 9 月.
18. 木下信博, 日高滋紀, 塚本裕二, 山崎伸一, 平川和生, 松永勝也, 小野直洋, 志堂寺和, 則靴歩行において下肢筋力を加味した運動処方ソフトの開発, 靴の医学(第 20 回日本靴医学会学術集会論文集), vol. 20, no. 1, p. 47, 平成 18 年 9 月.
19. 廣田豊彦, データベース教育と学習支援システム, 第 8 回システムの開発法と教育法の研究会, 平成 18 年 9 月.

20. 廣田豊彦, TOC 思考プロセスの適用事例-卒業研究の改善を目指して, 要求工学ワークショップ・イン・津軽, 平成18年10月.
21. 成凱, 横田明彦, 牛島和夫, クライアント・サーバー協調による効率的なアクティブ Ajax の実現, 第7回 Web インテリジェンスとインタラクション研究会, 平成18年11月.
22. 澤田直, 実機の制御を前提とした設計教育事例, 電気学会電子回路研究会資料, ECT-06-95, pp.1-4, 2006年11月.
23. 朝廣雄一, 宮野英次, 宮崎修一, 吉牟田拓朗, サイクルグラフ上での地図作成問題に対する重み付き最近傍アルゴリズム, 電子情報通信学会技術研究報告, 106巻, 405号, pp.15-22, 平成18年12月.
24. 宮地寿治, 西剛弘, 合志和晃, 松永勝也, 脳機能障害者の認知・反応時間測定用ドライビングシミュレータの開発, 第5回 ITS シンポジウム 2006 論文集, pp.199-204, 平成18年12月.
25. 合志和晃, 松永勝也, 西岡麻美, 林政安全, 運転管理システム(ASSIST)における安全運転度評価ソフトウェアの開発, 第5回 ITS シンポジウム 2006 論文集, pp.33-38, 平成18年12月.
26. 稲永健太郎, 情報品質保証における情報エスクローについての一考察, 第59回オフィス・オートメーション学会九州支部研究会, 平成18年12月.
27. 森優輔, 稲永健太郎, 教員の作業コスト低減のための講義支援システムの設計, 第59回オフィス・オートメーション学会九州支部研究会, 平成18年12月.
28. 神屋郁子, 下川俊彦ライブ, ライブ動画配信におけるアクセス傾向, 電子情報通信学会 インターネットアーキテクチャ研究会, IA2006-39, pp.49-54, 平成19年1月.
29. 廣田豊彦, 要求定義プロセスの実験的計測, ウィンターワークショップ2007・イン・那覇, 平成19年1月.
30. 宮崎明雄, 電子透かし検出問題のベイズ推定に基づく定式化について, 電子情報通信学会技術研究報告(信号処理研究会), SIP2006-193, pp.1-5, 平成19年3月.
31. 中林孝弘, 一ノ瀬裕, 遅延聴覚フィードバックによる影響の受けやすさを左右する要因について, 日本音響学会 2007 年春季研究発表会, 平成19年3月.
32. 内林俊洋, アブドゥハン・ベーナディ, 有田五次郎, 位置情報を考慮した車椅子利用者向けモバイル端末用ナビゲーションシステムのフレームワーク, 情報処理学会研究報告(130DPS/36CSE 合同研究会), pp.73-76, 平成19年3月.
33. 山下康仁, 内原亮, アブドゥハン・ベーナディ, サービス指向のセマンティックグリッドコンピューティング環境の構築に向けて, 情報処理学会研究報告(130DPS/36CSE 合同研究会), pp.315-319, 平成19年3月.
34. 内林俊洋, アブドゥハン・ベーナディ, 有田五次郎, 位置情報を考慮したハンディキャップ向けモバイル端末用ナビゲーションシステムの構築, 情報処理学会全国大会, 平成19年3月.
35. 陳澤林, 林政喜, 合志和晃, 松永勝也, 追突事故及び出会い頭事故防止のための簡易型安全運転管理教育システム(ASSIST)の開発, 情報処理学会研究報告(IPSJ SIG Technical Report), 2007-ITS-28, pp.15-22, 平成19年3月.
36. 掛下哲郎, 宇津宮孝一, 天野英晴, 富野壽, 山野井昭雄, 牛島和夫(司会), シンポジウム:5周年を迎えた JABEE 認定制度:現状分析と今後の展望, 第69回情報処理学会全国大会, 平成19年3月.
37. 廣田豊彦, システム開発演習の実施と評価, 第9回システムの開発法と教育法の研究会, 平成19年3月.
38. 稲永健太郎, 情報エスクローによる情報品質保証の可能性, 日本経営システム学会ビジネスデザイン研究部会研究会, 平成19年3月.
39. 四元隆弘, 米元聡, 実物体マーカーを用いた仮想物体操作インタフェース, 第69回情報処理学会全国大会講演論文集, 平成19年3月.
40. 古川裕次郎, 米元聡, 動作履歴特徴を用いた人物特定動作の認識, 第69回情報処理学会全国大会講演論文集, 平成19年3月.
41. 山本隆也, 森一之, 安部恵介, 平野昌彦, 福地陽一, ピークルルーティング問題への多点探索型タブーサーチの適用, 電気学会産業計測制御研究会資料 IIC-07-7, pp.31-34, 平成19年3月.
42. 花野井歳弘, 双方向型産学連携実践教育, 情報処理学会第99回 IS 研究会, 平成19年3月.

【総説・解説等】

1. 朝廣雄一, 高校生対象の模擬講義, LA シンポジウム会誌, 第47号, pp.15-19, 平成18年8月.
2. 畠山真理子, 中塞隆, 仲隆, RTK シグナル伝達系のシステムバイオロジー, 実験医学, 10月号, vol.24, no.16, pp.2530-2535, 平成18年10月.
3. 朝廣雄一, 小野廣隆, 宮野英次, 山下雅史, 移動物体回収問題, 電子情報通信学会誌, vol.90, no.3, pp.245-247, 平成19年3月.
4. 成凱, ウェブとデータベースによる情報配信, 九州産業大学情報科学会誌, 5巻, 1号, pp.27-30, 平成18年度.

【講演】

1. 石田健二, T-matrix と T 作用素を用いた逆散乱解析について, 電気学会電磁界逆散乱解析調査専門委員会研究会(平成18年度第2回), 平成19年3月(名古屋).
2. 花野井歳弘, 九州の人材育成戦略(パネラー), 九州テクノフェア, 平成18年9月(福岡).
3. 花野井歳弘, 双方向型産学連携組込みソフトウェア教育, 第四回九州組込みソフトウェア研究会(QUEST)セミナー, 九州組

込みソフトウェア研究会, 平成19年1月(福岡).

【展示会】

1. 松永勝也, 合志和晃, 安全運転管理教育システム, 九州ブロック産官学連携ビジネスショウ, 平成18年10月(西日本総合展示場北九州市).

平成18年度研究補助金等

【科学研究費補助金(研究代表者)】

研究代表者	研究課題	研究種目	研究期間
朝廣 雄一	文部科学省科学研究費補助金, 緩衝帯付き仕事計画問題に関する研究	若手研究(B)	平成18年度~20年度
成 凱	文部科学省科学研究費補助金, 半永続データの自己組織化管理に関する研究	萌芽研究(2)	平成18年度
稲永 健太郎	文部科学省科学研究費補助金, 企業のコンシェルジュ型情報発信戦略と情報発信支援システムに関する研究	若手研究(B)	平成17年度~18年度

【受託研究】

研究者	研究課題	受託機関	研究期間
松永 勝也	足型測定器の改良	アサヒコーポレーション	平成18年度
松永 勝也	足型測定器の自動化	久留米リサーチパーク	平成18年度
安部恵介	省エネ配送計画最適化技術	三菱電機先端技術総合研究所	平成18年度

【奨学寄付金】

研究担当者	寄付者
	(※平成18年度なし)

【共同研究】

参画者	研究課題, 研究代表者	研究期間
	(※平成18年度なし)	

【研究助成金等】

参画者	研究課題	研究期間
牛島和夫, 花野井歳弘	経済産業省産学協同実践的IT教育訓練基盤強化事業, プロジェクトベース設計演習]FDプログラムの開発	平成18年度
宮崎 明雄	財団法人栢森情報科学振興財団研究助成金, ベイズ推定に基づくロバストな電子透かしシステムの開発に関する研究	平成18年度
稲永 健太郎	九州産業大学総合情報基盤センター研究開発, 教員による学生教育支援のためのウェブレポートシステムの開発	平成18年度

【科学研究費補助金(研究分担者)】

研究分担者	研究課題(研究代表者)	研究期間
牛島 和夫	半永続データの自己組織化管理に関する研究 (九州産業大学情報科学部 准教授 成 凱)	H17年度~18年度